

2017

みんなの
いのち

守る

署名

KYOTO



京都府民のみなさん。

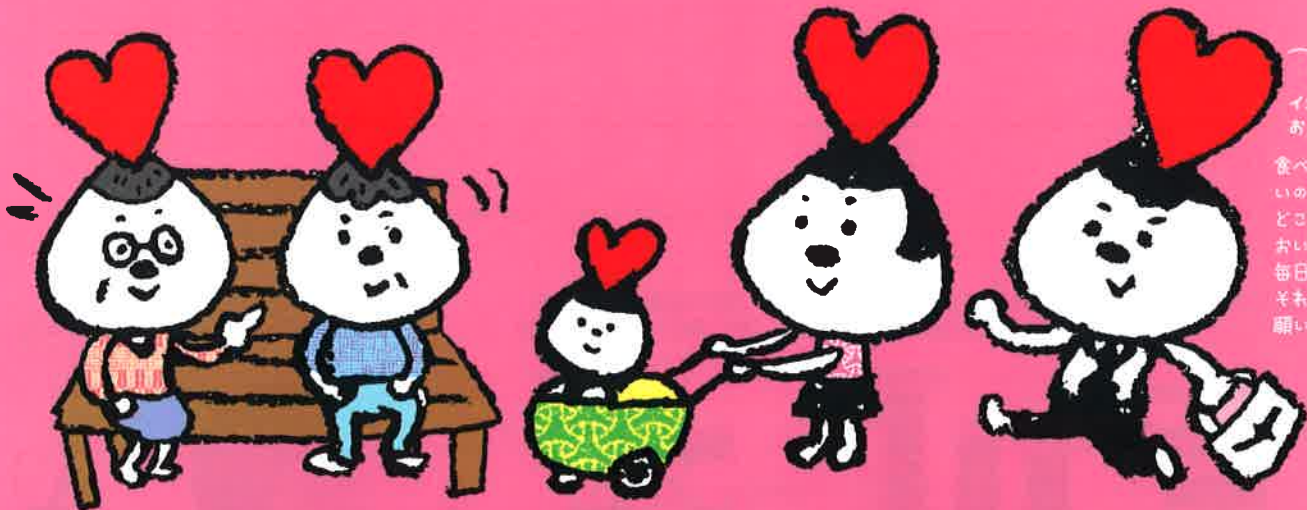
医療のこと 介護のこと 暮らしのこと

みんな立場は違ってもたいへんなことがいっぱいですが

でも、声をあげれば変えられる!

たくさんの思いを集めて、京都府知事さんに届けます。

署名にご協力ください。



イメージキャラクター
おむすびちゃん

食べることは
いのちをつなぐこと。
どこでも、たれでも、
おいしいごはんを食べて、
毎日笑顔で暮らせるように。
それがおむすびちゃんの
願いです。

医介福

医療・介護・福祉、社会保障の施策の充実を京都府に求める署名です。

連絡先「みんなのいのちを守る」署名実行委員会
京都社会保障推進協議会(京都社保協)
TEL:075-801-2526/FAX:075-811-6170
eメール:shahokyo@labor.or.jp



府民みんなのいのちを守る要請署名

要請趣旨

多くの地域や職場で貧困と格差が拡大し、子どもや高齢者はじめ府民のいのちが守れない実態が広がっています。

年金が減らされ厳しい生活を余儀なくされる高齢者、医師・看護師・介護従事者の不足、貧困の連鎖や重すぎる奨学金にあえぐ青年、必要な医療や福祉を受けられない患者や高齢者・障害者、子どもへの虐待、待機児童や保育士不足、商売が成り立たない業者、低すぎる賃金と長時間過密労働を強いられる労働者…。しかも政府は、2018年の診療報酬・介護報酬同時改定を節目に、家庭や個人に負担と責任を押し付ける施策をさらにすすめようとしています。

こうした中で、府民の願いである憲法13条、25条を具体化した「みんなのいのちを守る」社会保障充実の施策を京都府と国に求めるものです。

要請項目

1 京都府のどこでも医療・福祉が安心して受けられる施策を拡充してください。

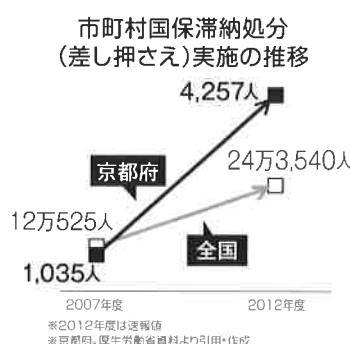
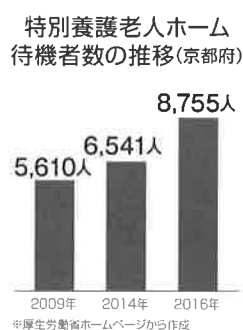
- ・患者・高齢者・障害者・子どものための施設整備と人材確保を行うこと。
- ・負担増を拡大する医療と介護「改革」の中止、みんなのいのちを守る施策を国に求めること。

2 患者・利用者や家族の負担をこれ以上増やさず、負担軽減策を充実してください。

- ・高すぎる国民健康保険料を引き下げること。当面、一世帯あたり年額一万円減額。
- ・介護保険料と利用料の負担軽減制度の拡充。
- ・京都府の独自制度である老人医療助成制度(マル老)を制度改悪前の1割に戻し、74歳まで拡充すること。

お名前	ご住所

※この個人情報は請願以外には使用しません



医療費負担を理由に患者に治療等を断られた経験

